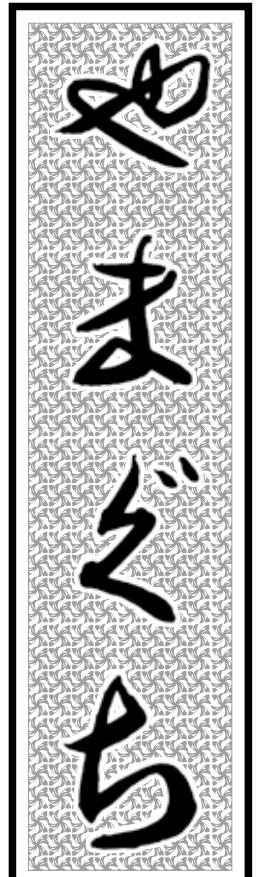


リーダーさん Q & A

先人の伝統を継承し、新たな絆を追加

山口町古文化保存会

会長 辻 英一郎さん(59歳) 名来在住



発行
山口地域コミュニティ
編集
宮っ子山口版
編集委員会



辻山口町古文化保存会会長

—古文化保存会設立の経緯について教えてください。
辻 山口町古文化保存会は、前の組織を衣替えして平成9(1997)年に立ち上げた組織です。
基本は、山口町各地区の自

治会組織内の古文化保存関係を統合し立ち上げた組織です。
過去に、名来地区では袖下踊りの音頭取りが高齢化で少なくなり、下山口地区の音頭取りに協力を依頼することもありましたが、また、袖下踊り

の踊り子も高齢化により減少していました。
袖下踊りは昭和49(1974)年に「山口町袖下踊り」として西宮市の無形民俗文化財に指定され、これを契機に保存活動が強化されて今に至っています。古文化保存会を傳承していく上で、どのようにしたら良いかを考える組織として立ち上げられた先人の方々の苦心がうかがわれます。
—会長に就任した経緯を教えてください。
辻 古文化保存会の内容については素人に近い状態ですが、前会長の杠武晴さんが相談役として支えてくださるので、会長職を何とか行っています。
山口町自治会連合会の組織の中で杠さんが会長として任命されて私は名来自治会の副会長として古文化保存会に所属するようになりました。
杠さんの時に、副会長として在籍していましたので古文化保存会は今年で3年目になります。古文化保存会の会長の任期は2年なので令和8年度の1年とその後の相談役として2年の活動がありますので、副会長の時からします

* (2面に続く)

創業 昭和8年 地元山口町で三代に渡りご愛顧いただいております

いわもと畳店 熊本産 天然い草畳 専門店 西宮市 技能功労賞 受賞

〒651-1433 西宮市山口町中野3-8

078-595-8824 お見積もり 無料

携帯電話 080-9746-0344 午前9時-午後6時

 
HP Instagram

やまぐち・トピックス



12月7日 山口中学校
下山口の縄跳び



12月16日 山口小学校 4年生
校外学習 バンドー神戸青少年科学館・人と防災未来センター



12月12日 北六甲台小学校
マラソン大会



1月7日 連合老人会
今年の恵方は南南東で和歌山方面です。淡島神社、立神社、玉津島神社にお参りしました

と合計6年間古文化保存会に関わることになりました。

昨年、西宮市制100周年の事業があり、袖下踊りの参加申し込みを当時の会長が行っていました。

本来古文化保存会の会長は昨年から下山口地区の担当でしたが、西宮市制100周年の事業に当初から関与していたため、名来地区の私が引き続き務めている次第です。

西宮市制100周年の事業については、いろいろな関連団体へご協力をお願いしてきましたので、次の方へと途中で交代するのも迷惑になります。

* (一面から続く)

―他団体との連携はどのように行っていますか？

辻 古文化保存会を立ち上げてからは、山口町徳風会、自治会、婦人会、老人クラブ、山口中学校、山口小学校、山口幼稚園などの方々のさらなる協力を頂きながら運営しています。

地域の方の参加、協力なしに古文化は保存できません。

音頭取りは、各地区に部会が存在し、取りまとめ役としてわれわれ古文化保存会があります。お神楽は名来地区が中心に行っていますが、どの地区からも育成部への参加は可能です。

―若い世代への継承にどのような工夫をしていますか？

辻 名来地区の事例で申し上げますと、自治会を通じて地域の皆さんに声掛けを行っています。袖下踊り育成部員や音頭取りについては、少しずつですが効果があり、保存会の人数が増えています。

2年に1度の盆踊り中央大会、毎年中央伝習会などの周知は、各自自治会にお願いして地域のつながりを大切にしています。さらに山口町の古文化の広がりをお願いするため、各地区の関係者が一同に会して交流会を実施しました。各地区の皆さんが多く集まり、大

いに盛り上がりました。

―地域に伝えるメッセージは？

辻 袖下踊りだけでなく、いろいろな山口町の古文化を次世代の方に伝承していくのが古文化保存会の使命と考えています。

古文化は地域住民の共有の財産です。地域の皆さんのご協力で守り続けられる文化的遺産です。今後とも、ご協力をよろしく願います。

(記事 西口 育宏)

高台に立ち、絶景が望める空気のきれいなところ

社会福祉法人真心幸泉会 **幸泉**

- 特別養護老人ホーム ● 常時介護を必要とする在宅生活が困難な高齢者に対し生活全般の介護を提供する
- 短期入所 ● 一時的に本人、家族の都合で利用
- (全室個室) ユニット ● 利用者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重したケアが受けられる
- (全室個室) ケアハウス ● 家庭での生活が困難な60歳以上の方が低料金でサービスが受けられる

ホームページ



You Tube



〒651-1412 西宮市山口町下山口字丸山1585-111
問い合わせ 078-904-1078 078-904-1975



HP <https://kosensuns.com/>
E-mail infos@kosen.org

下山口地区
自主防災訓練



下山口地区自主防災訓練

下山口地区の自主防災訓練が昨年11月9日、下山口会館で実施されました。当日は朝から激しい雨が降り、悪天候の条件のため室外の訓練は中止になりましたが、約50人が下山口会館に集合。13時30分から西宮消防局北消防署山口分署の署員の指導の下、心肺蘇生（CPR）訓練を行いました。

心肺蘇生は、心停止や呼吸停止の人に対して全身に血流と酸素供給を維持するための応急手当です。胸骨圧迫を中心に、必要に応じて人工呼吸やAED（自動体外式除細動器）を組み合わせます。訓練ではAEDの使用法の実演があり、休憩を挟んだ後、市・防災危機管理課の職員による避難や備えなどに関する講座を聴講。太田寿長自治会長によるあいさつで15時過ぎに訓練を終了しました。

山口SCC21
GG大会

山口スポーツクラブ21（SC21）主催のグラウンドゴルフ大会（GG大会）が、小学校の運動場で昨年12月13日に行われました。子どもたちのチームは、1チーム3人で4チームです。各地区からは、すみれ台が1チーム4人、中野地区が3チーム12人、上山口地区が3チーム12人、下山口地区が3チーム12人、名来地区が2チーム8人で、合計16チーム、60人（保護者を含まず）が参加し、16ホールを競いました。実行委員長のあいさつと注意があり、競技は12時30分開始。天候も良く、子どもたちもスタートマットからクラブでボールを打ち、ワイワイガヤガヤとホールポストを目指しています。途中でマーカーを付けますが、それも楽しく行っていました。



GG大会の表彰式

船坂のしめ縄づくりを山王神社総代主催で行いました。毎年行われるしめ縄（注連縄）づくりは、12月下旬の日曜日に山王神社と船坂自治会が協力して行います。昨年は12月21日、午前9時30分から開始しました。



船坂自治会の皆さんによるしめ縄づくり

笑顔で対応します！
 受付時間 9:00~17:00
 ☎078-907-1165 (担当：西垣)
 兵庫県西宮市山口町上山口 1584-1

入居者募集
 社会福祉法人緑峯会
 特別養護老人ホーム
セントポーリア 愛の郷

施設見学 大歓迎！

- 特養 110床・ショートステイ 10床
- 全室個室：トイレ、洗面完備
- ユニット型：10名程度のなじみのグループで生活

食事がおいしい (料理療法も盛んです)
 楽しい音楽療法、イベント充実 (音楽療法士3名が対応)

広告

マイペット

白い猫のプーちゃんを5年ほど前から飼い始め、その後、黒い猫のレオンちゃんがわが家に来ました。2匹は仲良く暮らしています。家族のみんなも、この子たちと毎日、平和に楽しく生活しています。

名来Y・Family



公民館 だより

「戦国時代のお城」

丸山城とその時代

参加費：無料

対象：一般

先着：40人

講師：近畿大学文芸学部

文化・歴史学科准教授

新谷和之さん

参加費：無料
対象：一般
先着：40人
講師：プティ・シンフォニー
3月の催しは、2月から受け付けを開始しています。確認をお願いします。

代表 岡本由紀子さん

▼3月24日(火)
14時～15時半

詳細は山口公民館へ
☎078・904・0287

児童センターお知らせ

▽令和8年度

おやこであそぼ

参加募集(会員制)

募集対象：令和6年4月1日以

前生まれの(就園前)

の子と保護者

開催日：令和8年4月～令和

9年3月までの木曜

日

年間18回(予定)

募集人数：親子20組

▽スプリングフェスタ

&ビンゴ大会

日時：3月14日(土)

14時開場

14時15分～17時

場所：山口ホール

対象：乳幼児～小学生

申し込み：要 チケット制

児童センターにて配

布(無料)。先着1

50人

詳細は山口児童センターへ
問い合わせてください。
☎078・904・2055



第14回

ふるさと再発見

左の写真は、名来地区にある自動車教習所から道場方面を撮った風景です。天候の良い冬の写真で、中央近くに見える鉄塔は送電線(道場町地域)です。その下には、新名神高速道路が見えます。手前の山には神戸市セミナーハウスがあります。
名来地区は昭和47(1972)年から行われた区画整理事業で大きく変化しました。この事業でインフラが整備され、住みやすい街になりました。この事業は昭和53年に完了しています。
名来地区は地域の整備事業を成功させ、さらに「布団だんじり」や「お神楽」といった伝統行事も継続的に行われ、活発化しています。ハ



名来地区にある自動車教習所からの風景